

## 宇治茶の価値の継承の取組について(イメージ)

宇治茶の価値を表す資産は、有形・無形に関わらずすべてが大切な資産です。世界文化遺産という枠組みの基準に該当するものだけが価値があるということではなく、宇治茶に関わるすべての資産があつてはじめて世界文化遺産の構成資産の価値が証明できるものです。このため、すべての宇治茶の資産の価値を共感・発信し、それを保全・継承していくことが必要です。

区分	資産名	資産の概要	資産1 保全計画 あり	資産2 保全計画 なし	資産3	資産4
有形資産	茶園	面的広がりがある「本ず茶園」風景	●	○		
		古い建物の町並みや茶工場、茶畑がある「茶園集落」	●	○		
		宇治茶発展の中で重要な価値をもち、面的広がりがある「茶園」風景	●	○		
		宇治茶発展の中で価値をもち、面的広がりがある「茶園」風景			○	
		本ず、コモ茶園				○
		歴史に登場する茶園				○
		手摘み茶園				○
	茶師・茶商の屋敷	古い茶師・茶商の屋敷を含む景観	●	○		
		古い茶師・茶商の屋敷			○	
	茶室	宇治茶発展の中で重要な価値をもっている「茶室」	●	○		
宇治茶発展の中で価値をもっている「茶室」				○		
社寺	宇治茶発展の中で重要な価値をもっている「社寺」	●	○			
	宇治茶発展の中で価値をもっている「社寺」			○		
その他	建物は新しいが宇治茶発展の中で重要な価値をもっている建築物				○	
	宇治茶発展を物語る跡地(碑など)				○	
	宇治茶発展を物語る「資産」				○	
無形資産	技術、催し	茶かぶき				○
		献茶式				○
		手もみ製法				○
		茶会				○
		茶まつり				○
		茶祖祭				○
		茶にかかわる伝統行事				○

資産1: 世界遺産の評価基準が適用される価値のある有形資産  
 資産2: 世界遺産の評価基準が適用される価値があるが、保全計画の策定が困難な有形資産  
 資産3: 世界遺産の評価基準の適用は難しいが、宇治茶発展の中で価値を有する有形資産  
 資産4: 世界遺産の評価基準の適用は難しいが、保全継承すべき価値を有する有形・無形資産

